

平成 25 年度自殺対策官民連携協働ブロック会議実施報告

I 実施内容

1 自殺対策官民連携協働ブロック会議

	日程等	人数	内 容
北海道・東北	10月4日(金) 10:00~12:00 メルパルク仙台	自治体 26 民 間 17	我が国の自殺対策(内閣府) 生活と命をつなぐ相談事業(青森県) 秋田県の自殺予防ふきのとうホットライン(秋田県) 性的マイノリティの自殺予防実践活動報告 (性と人権ネットワーク ESTO) 質疑・意見交換
関東	9月12日(木) 10:00~12:00 コンファレンス スクエアM+	自治体 53 民 間 22	我が国の自殺対策(内閣府) 東京都自殺相談ダイヤル(東京都) いのちとこころの支援センター事業 ～自殺未遂者等ハイリスク者への相談支援(新潟県) いのちとくらしの総合相談会(NPO 法人ライフリンク) 質疑・意見交換
中部	10月17日(木) 10:00~12:00 ミッドランド ホール	自治体 38 民 間 24	我が国の自殺対策(内閣府) 浜松市自殺対策地域連携プロジェクト～絆で支え合う はままつに向けて(静岡県浜松市) Eメール相談事業(愛知県) こころのサポートハーティ友手の取組 (NPO 法人ハーティ友手) 質疑・意見交換
近畿	11月8日(金) 10:00~12:00 京都リサーチ パーク	自治体 42 民 間 13	我が国の自殺対策(内閣府) きょうほっとあした ～くらしとこころの総合相談会(京都府京都市) 堺市の自殺対策について(大阪府堺市) 断酒会の取組(美原断酒会) 質疑・意見交換
中国・四国	11月15日(金) 10:00~12:00 アークホテル 広島駅南	自治体 33 民 間 16	我が国の自殺対策(内閣府) 岡山市における自殺対策～気づき・つながり・支えるいのち 支援事業～(岡山県岡山市) かかりつけの医師と精神科医の連携強化(広島県広島市) 徳島県自殺予防協会の取組 (社会福祉法人徳島県自殺予防協会) 質疑・意見交換
九州・沖縄	11月29日(金) 10:00~12:00 八重洲博多ビル	自治体 52 民 間 14	我が国の自殺対策(内閣府) いのちを守る相談チーム ～専門職による包括的・機動的支援(福岡県福岡市) 佐賀県の自殺対策 ～かかりつけ医・精神科医紹介システム事業(佐賀県) 地方で取り組む民間の自殺対策 (一般社団法人おおいた社会的包摂サポートセンター) 質疑・意見交換

2 自殺対策連携コーディネート研修

自殺対策連携コーディネート研修は、自殺対策官民連携協働ブロック会議と同日の午後に実施した。

(1) 講師 橋本康男氏 (公益財団法人広島県地域保健医療推進機構 地域医療推進部長)

(2) プログラム (13:00~17:00)

第1部 個人の問題意識の掘り下げと共有

- ・導入講義「社会システムづくりとコーディネート力」
- ・グループワーク① 「連携コーディネートのために重要なこと」
- ・個人の意見発表

第2部 地域の取組事例報告

- ・地域の実践事例の発表 (2事例)

第3部 グループでの問題意識の掘り下げと共有

- ・グループワーク②
「地域での自殺対策を進めるための連携コーディネートにおいて、個人としてなすべきこと、組織としてなすべきこと」
- ・グループでの議論の発表とピアコメント
- ・まとめ

(3) 地域の取組事例報告

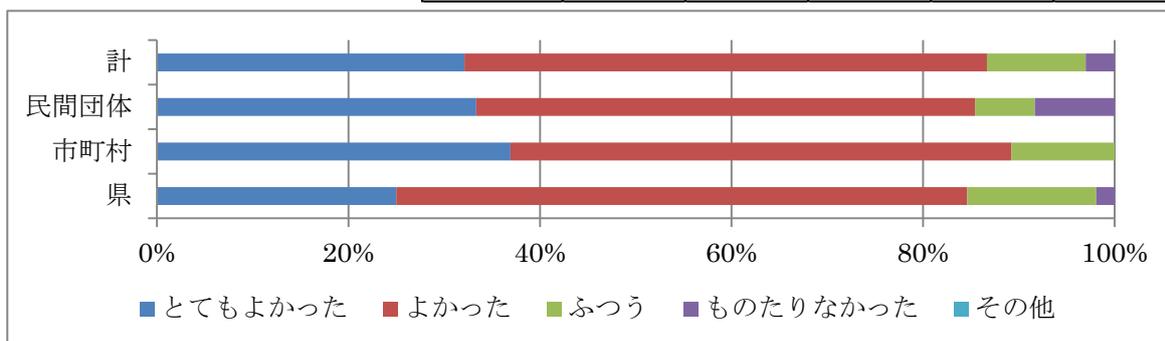
北海道 東北	子どもを支える教育者のための「自殺予防ゲートキーパー専門研修」(北海道) 久慈地域における自殺対策の取組 (岩手県)
関東	自殺対策に関する出前講座 (神奈川県) 新潟市の自殺対策について (新潟県新潟市)
中部	郡上市いのちの支え合い推進事業 (岐阜県郡上市) ワンストップ型包括支援相談事業 (富山県)
近畿	京丹後市の自殺予防対策 (京都府京丹後市) ゲートキーパー養成研修 (兵庫県加古川市)
中国・四国	地域における関係機関のネットワークの強化 (高知県) 鳥取県の自死対策～睡眠キャンペーンの取組～ (鳥取県)
九州・沖縄	長崎県大村市の自殺対策事業 (長崎県大村市) 心の健康づくりを通じた地域の連携体制の構築 (熊本県あさぎり町)

II アンケート結果

1 自殺対策官民連携協働ブロック会議

(1) 所属別

所属	とてもよ かった	よかった	ふつう	物足りな かった	その他
県	24	51	9	1	0
市町村	42	70	15	0	0
民間団体	27	42	8	4	0
計	93	163	32	5	0



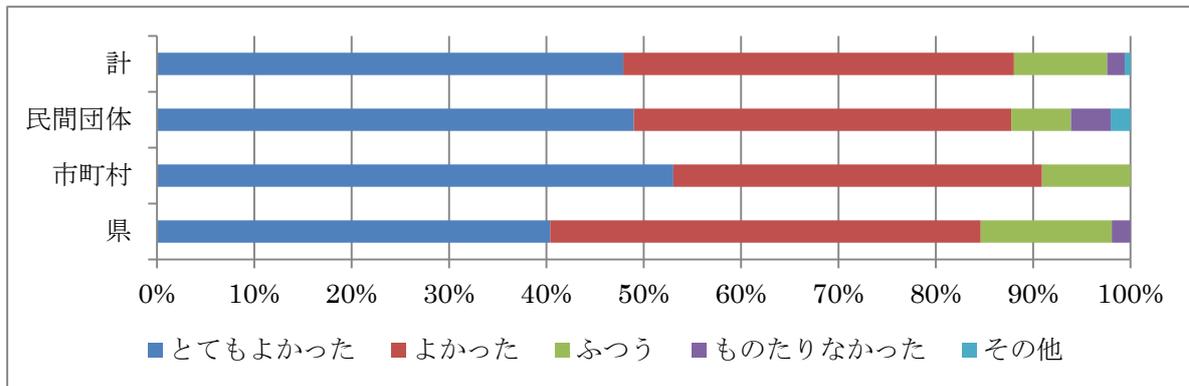
(2) ブロック別

	所属	とてもよ かった	よかった	ふつう	物足りな かった	その他
東京	県	5	12	1		
	市町村	7	17	4		
	民間団体	7	9	5		
	ブロック計	19	38	10	0	0
仙台	県	4	6	1		
	市町村	4	6	2		
	民間団体	5	7	1	1	
	ブロック計	13	19	4	1	0
名古屋	県	1	10	3	1	
	市町村	5	8	3		
	民間団体	5	9	2	2	
	ブロック計	11	27	8	3	0
京都	県	3	10	2		
	市町村	7	13	2		
	民間団体	1	3		1	
	ブロック計	11	26	4	1	0
広島	県	5	5	1		
	市町村	8	7			
	民間団体	5	6			
	ブロック計	18	18	1	0	0
福岡	県	6	8	1		
	市町村	11	19	4		
	民間団体	4	8			
	ブロック計	21	35	5	0	0

2 自殺対策連携コーディネーター研修

(1) 所属別

所属	とてもよ かった	よかった	ふつう	物足りな かった	その他
県	37	39	8	1	1
市町村	61	52	10	2	1
民間団体	39	31	7	3	1
計	137	122	25	6	3



(2) ブロック別

	所属	とてもよ かった	よかった	ふつう	物足りな かった	その他
東京	県	8	9	1		
	市町村	8	14	3	1	1
	民間団体	10	5	4	1	
	ブロック計	26	28	8	2	1
仙台	県	5	5	1		
	市町村	8	3	1		
	民間団体	9	6			
	ブロック計	22	14	2	0	0
名古屋	県	5	6	3	1	
	市町村	6	6	4		
	民間団体	8	7	2	2	
	ブロック計	19	19	9	3	0
京都	県	5	8	2		
	市町村	10	12	1		
	民間団体	1	1	1		1
	ブロック計	16	21	4	0	1
広島	県	6	4	1		
	市町村	11	4			
	民間団体	6	5			
	ブロック計	23	13	1	0	0
福岡	県	8	7			1
	市町村	18	13	1	1	
	民間団体	5	7			
	ブロック計	31	27	1	1	1

3 意見（アンケートより抜粋）

（1）ブロック会議

【よかった理由】

- ・官・民両者の意見が聞いて良かった
- ・具体的な事例がわかった。京都市の総合相談会について様々な試行錯誤の結果を知ることができ参考になった。
- ・ブロック会議の中でありました各団体等の活動報告はとても参考になり、次回もぜひ行っていただければと思う。
- ・行政だけでなく民間の方々の取組やそれらの団体との連携の必要性がわかった。
- ・今回の内容に加え、何かテーマ（たとえば「若者への自殺対策」など）で各機関の状況の簡単な発表などができる時間があればと思いました。
- ・事例を聞くことによって自ら施策を考えるための好材料となる。
- ・自殺対策推進室の担当の方から直接お話を伺うことができたので良かったです。紙面（冊子）で見るとよりわかりやすかった。性的マイノリティについて、自分も間違った認識をしていたと思う所があった。なかなか明確に語られないというか、取り組んでいる団体があるというのも今回初めて知った。
- ・他の地域での現状や課題を聞いた。振り返って自分の地域に当てはめて課題意識を持てた。
- ・各地の取組は参考になりました。実践報告例が良かった。すぐ実践できそうで。
- ・こうした会議の開催自体に大きな意味がある。最初のものとしては合格点ではないか。ただもっと広く行政の人に参加してもらうことや内容の精査は必要
- ・意見交換の時間があって様々な意見が聞いて良かった
- ・全国の具体的な事例が知れ、質疑応答の中で内閣府の話がよく聞いて良かった
- ・他地域の取組を知り、直接質疑をすることにより見習うべき点などが確認できた
- ・質疑応答の内容が良かった。聞きっぱなしではなく、うつ・自殺者のためでもなく自分自身のためになった。地域の活動に活かしたい。つながることの大切さ、どうすればつながれるか等考えることができた。

【改善点等】

- ・さらに民間企業と行政の連携・協働例を知りたい
- ・民間側からの発表の時間、地域ごとの顔つなぎの時間があってもよかったかもしれません。
- ・民間団体の発表を聞きたい
- ・民間団体から連携に際して望むこと等の意見が聞けるとよいと思いました。
- ・他の機関と交流できる時間がほしい（せっかくの機会です）
- ・実践報告が少ない
- ・もう少し時間を割いてほしい
- ・内容はとても良かったです。1日だとボリュームが多すぎる感じでした。1.5日くらいの開催は無理でしょうか。
- ・ブロック会議で1日使うくらいの時間が必要であるとする

【ふつう、物足りなかった理由】

- ・他機関との連携協働会議としては物足りなかった
- ・他でも聞ける機会がある
- ・会議というよりは一方通行の研修のようだった。
- ・内閣府の方だけでなく厚労省の方にも、県のセンターの方だけでなく救急医療担当の方にも参加していただきたいかったです。

- ・情報・意見交換の場で司会に指名されるという進行は雰囲気が悪い。（実際指名には至らなかったが）

（２）コーディネート研修

【よかった理由】

- ・とてもわかりやすい講義だった。コーディネートの真に必要なこと難しさがわかった。自分の抱えている問題とリンクしていたので、じっくりと考える良い機会になった
- ・問題意識の共有化が連携を強化する上で大切なことを学べたから。絞り込んだ短いグループワークの有効性を学ばせてもらいました。会議の内容を同一ファイルで引き継ぐ手法が紹介されて質を落とさないために有効と思われました。
- ・グループワーク、発表、意見交換等を通じ、講義や事例報告、実践報告等を深く考えられるようになったと思います。
- ・連携の実際的手法が体験でき、グループワークでも意見交換が深められてよかったと思います。
- ・講師の方のお話は、今していることを振り返ることができありがたかったです。他県の人とも情報交換できたのは有意義でした。
- ・コーディネーターの重要性が改めて認識できた。
- ・連携コーディネートに関して有益な情報を得られた。
- ・連携とコーディネートについて大変参考になった。今後の業務に活かせる
- ・グループワークの中で他団体の意見が聞けたので。事例発表もよかったです。
- ・午後の研修がわかりやすく学ぶことが多かったです。相手の良さをいかに引き出すかを見せていただき、すぐに実践できるものではないですが、今後に生かしていきたいと思いました。
- ・コーディネーターとしての役割が学べた。講師のいろんな体験から出る言葉でとても勇気づけられた。（できるところから一つずつ積み重ねていくことや30点主義など）
- ・受け身ではなく、主体的に考えていくいい機会になりました。自分は何ができるかを考えて一歩を出したいと思います。
- ・ふつう研修のテキストは二度と見返すことがないケースが多いが、今回はすみからすみまで見返したい（復習したい）と思った。
- ・これまでにないやり方で大変新鮮でありました。良い経験になりました。

【ふつう・物足りない・その他の理由】

- ・時間管理、雰囲気が厳しすぎて自己啓発セミナーのようだった。経験年数、背景が全くバラバラの中で同じ一定ラインを求められるのは下はきびしい。参加者の経験や職種をある程度しぼらないと意見もまとまらない（そもそもかみ合わない）。担当者の意識改革が目的の一つならそれを明記するなり、対象を行政に絞ってほしい
- ・コーディネートの研修は当たり前の内容で新しい気づきや発見があまりなかった。新潟市の報告はぜひ参考にしたい
- ・期待した内容ではなかった
- ・「官民連携」と名があるのであればもう少しその連携についての話があった方がよかった。行政職の人向けの性格の強い1日だったと感じた
- ・官民交流、連携についての具体的な話し合いがなく残念であった。
- ・具体的な連携事例をもっと報告してほしかった。

(3) 自由意見等

- この研修のようなものが、県・管内など顔のわかる範囲であるとよい。県や管内主催での開催を望みます。
- ブロック毎だと限られた人数しか参加できないので都道府県ごとの開催も考えていただければと思います。都道府県により自殺対策への投入力（量）、内容も異なると思いますので、事業化して予算を流していただければ、ありがたいところです。
- 自身の自治体としては先に進めない苦しさがある中で、事例のように進められたところの違いは何なのか、苦しい思いをしながら来ました。自身の自治体ですぐに取り入れたり、チャレンジすることがまだ見つかりません。うまく進まないところを集めて一緒に検討できる場もほしいと思いました。
- 各地域、どういう分析をしているのか、具体的な手法を教えてくださいたいです。
- 民間団体の参加がもう少し多かったらバランスがよくなるのではと思った
- 教室形式で1日行うよりもグループの形にセッティングされている方がより官民連携につながると思う。せっかく「全国」ではなく、「関東」とブロック毎になっているのもっと各自治体の取組を紹介してほしい
- 官民一体となつての研修は新鮮で、ぜひまた会議にも出席したい
- 民間の参加者を自治体職員と同数程度で配慮いただきたい。ブロック会議参加者とコーディネーター研修の参加者をわけることもあってもよいのではないか
- 事前の案内に内容をもっとくわしく入れていただいた方が職場でこの会議、研修への出席の理解が得られやすい。